

【シンポジウム】

効率的・効果的な 医療提供体制構築 に関する提言

わが国の一段の高齢化の進行と極めて厳しい財政状況を鑑みれば、医療保険制度全体において効率的・効果的に資源を配分するシステム追究が必要である。

すなわち、診療報酬の出来高払いに象徴される医療サービス投入量への着目から、「アウトカム」を重視したシステムへの根本的な転換である。

そうした観点から、患者がプライマリケア医を登録できる制度整備、退院したいが受け入れ先がない患者の受け皿整備と将来の患者減を踏まえた病床削減、高額検査機器の稼働率や病院購入価格等も考慮した技術料評価、リアルワールドデータを用いた有効性再評価制度整備、および、薬剤師の臨床教育強化による対人業務ソフト促進について提言する。

講演①



東京大学大学院 医学系研究科 教授
公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学分野

康永 秀生

「医療の効果を継続検証する制度整備」

有効性の根拠に乏しい薬剤・医療機器の効果検証研究をリアルワールドデータを用いて実施した。この結果は、その後行われたランダム比較試験(RCT)と同様であった。

大規模なコストをかけずに行う方法も活用した、医療の有効性再評価の更なる仕組みづくりが必要と考える。

講演②



日本総合研究所 調査部 主席研究員
効率的・効果的な医療提供体制構築に向けた研究チーム 社内アドバイザー

西沢 和彦

「医療費財源の効率的・効果的配分に関する提言」

少子高齢化がさらに進む今後のわが国の医療制度を鑑みれば、従来の医療の量に着目した制度から、質を重視した制度への転換が必要。

患者・医療従事者視点で、中長期的に取り組むべき事項について提言したい。

日時：2020年2月7日(金)

16:00-17:30

(記者質疑応答：17:40～)

会場：東京大学本郷キャンパス

伊藤謝恩ホール

(記者質疑応答：当日ご案内)

主催：東京大学COI自分で守る健康社会拠点

TEL: 03-5841-0892

協賛：米国研究製薬工業協会(PhRMA)

株式会社日本総合研究所

【お申し込み方法】裏面に記載

効率的・効果的な 医療提供体制構築に関する提言

お申し込み方法

(報道機関専用受付メールアドレス)

200010-Ph20200207@ml.jri.co.jp

以下6点を記載のうえ上記アドレスへお送りください。

(1)貴社名：

(2)所属部署：

(3)役職：

(4)ご芳名：

(5)Email：

(6)シンポジウム 16:00- ： 参加

(7)質疑応答 17:40- ： 参加

※個人情報のお取扱い、及び個人情報に関するお問い合わせについて

・個人情報の取扱方針

弊社は1998年10月6日にプライバシーマークの付与・認定を受けております。お申込者の個人情報は弊社が定める「個人情報保護方針」に則り、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。尚、弊社の「個人情報保護方針」をご覧になりたい方はインターネットで <http://www.jri.co.jp/privacy/> をご覧下さい。

・個人情報の利用目的

お申込者の個人情報は以下の目的のために利用させて頂きます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は、改めて目的をお知らせし、同意を得るものと致します。

目的：「シンポジウム：効率的・効果的な医療提供体制構築に関する提言」へのご参加の確認、並びに今後のセミナー等へのご案内。

尚、セミナー当日の質疑応答での発言内容を録音させていただく場合がございますが、後日の確認のために利用し、以外の目的はありません。

・個人情報の共同利用・第三者提供予定

本お申込みに伴う個人情報の社外への提供の予定はありません。

・個人情報の取扱いの委託予定

本お申込みに伴う個人情報の社外への委託の予定はありません。

・開示、訂正・利用停止等の申し立て先及び個人情報の取扱いに関する苦情、ご相談の受付窓口（ご本人様よりお申し立てがあったときは遅滞なく開示、訂正・利用停止等の措置をとります。詳しくは弊社の「個人情報保護法に基づく公表事項」4.をご覧ください。）

① 本申込みにおける個人情報取扱責任者： リサーチ・コンサルティング部門 川崎真規

② 本申込みに係る個人情報の相談窓口： リサーチ・コンサルティング部門 南雲俊一郎 (E-mail : nagumo.shunichiro@jri.co.jp)

③ 個人情報保護法に基づく公表事項： <http://www.jri.co.jp/privacy/kohyo/> をご参照ください。